

第22期(平成26年度)事業計画及び収支計画書

有限会社 豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

第 22 期 事 業 計 画 書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

1. 計画の概要

国においては、これまで地域農業活性化のため、様々な施策を講じてきましたが、政権が民主党から自民党に移行し、これまで 45 年間行ってきたコメの転作制度を段階的に廃止するとともに、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加により、米・麦を除く他品目について段階的に関税を廃止または大幅な削減に向けて参加国の一つ、アメリカ合衆国と折衝中であります。

交渉の具体的な妥結案は未だ表明されず、TPP 妥結後の農業施策が具体的に見えない中、地域の高齢化は進み、農村地域から活力が失われつつあります。

下関市においては、平成 22 センサスにおいて 5 年間に農家数・基幹的農業者・農家人口は 10%以上減少しており、特に基幹的農業者は市平均 6%程度であるが、豊田町は 18%近い減少がみられます。また、営農組合や農業生産法人による農業経営体は、年々増加傾向にあり、現在 45 法人（豊田：5 法人）が設立、農業経営を行っており、今後、ますます「営農組織化」が進むものと思われま。

耕作放棄地の状況は、平成 23 年の 24.4ha から 25 年には 28.8ha で、18%増加しています。

こうした状況の中で、当社として、稲作などの基幹作業受託の伸びは期待できないため、営農組織では困難と思われる普通作物の防除、ライスセンターの有効活用を中心に活動を展開したいと思ひます。

指定管理施設の管理運営については、国・県の補助事業により整備されたことから、運営に制限が多く、時代に沿った管理運営が難しい状況にあり、また、施設が 10 年以上経過しておりトラブルも多く、円滑な管理・運営が難しい状況となっております。

しかしながら、指定管理施設を活用した農畜産物の生産性の向上、コストの削減、販売体制の充実、技術向上など、まだまだ改善すべきことも多く、今後、各部門ごとの効率化と安定した経営体質の確立に向けて努力してまいります。

以下、各部門について今年度の取り組み計画をお示しします。

2. 各部門の計画

(1) 一般管理

- ①各部門の業務分担の見直しと適正な人員配置により、作業の効率化に努める。
- ②コスト意識を徹底して、資材・機械等の購入、業務の委託等について、競争原理を

基本に、経費の削減に努める。

- ③人件費についても一定の能力主義を取り入れ、各部門それぞれに年度計画の策定を求め、年度末にその効果を評価し反映する。
- ④消費税の税率変更による各種利用料については、関係団体と協議の上見直しを行う。
- ⑤各種農業機械や設備の管理体制を見直し、保守・点検を徹底して機械・設備の保全に努める。
- ⑥各部門間の連絡を密にして各情報を共有するとともに、「報告・連絡・相談」(ほうれんそう)を徹底し、組織の在り方と、責任感の醸成に努める。
- ⑦ホームページの活用や各種報道機関に対して、みのりの丘での活動・情報・魅力を随時発信する。

(2) 公園管理

- ①公園で気持ち良く家族が遊び、自然と触れ合えるよう、年次計画を基に、遊具や花木・花の植栽、整備を行うとともにPRに努める。
- ②定期的に除草、^刈剪定を行う。
- ③トイレ清掃の徹底と施設の安全点検を行う。
- ④動物とのふれあい方法を検討し実行する。

(3) 農作業受託

- ①稲作については、豊田地域を中心に各種作業受託を進める。
- ②大豆作については、収穫・乾燥調製作業受託を中心とし、除草・中耕作業受託についても、JA下関と連携し積極的に対応する。また、適期刈取りを円滑に行うため、各生産団体との事前調整を十分に行う。
- ③そばについては、収穫・乾燥調製作業が中心となるが、食彩館、体験業務においても必要なことから、みのりの丘での栽培を含め、作業受託も積極的に対応する。

(4) たまねぎ

定植機や収穫調整機を平成22年度に導入した経緯もあり、作業受託を積極的に行えるよう、関係機関・団体と十分調整する。公園内にも収穫体験用、出荷用として前年並みの栽培を行うが、除草方法の改善と貯蔵方法を検討し、コストの削減を図るとともに、長期出荷による販売額向上をめざす。

(5) 無人ヘリコプター農薬散布

昨年、2名のオペレーター養成ができたことや、4月からは新機種のリース契約を行うことにより、水稻だけでなく普通作物全般についても対応する。また、豊田地域を中心に防除面積の拡大に努める。

(6) 堆肥製造販売

- ①畜産農家の減少とともに家畜糞尿の搬入が減少しつつあり、原料確保のため関係機関・団体と協議し、営業活動を行う。

- ②良質堆肥づくりに努め、堆肥利用についても効能・利用方法を示しPRに努める。
- ③水分調整材（^{もみ}籾殻・おがくず）の適正確保に努め、経費の削減を図る。

(7) ライスセンター

- ①米の利用率は75%を下回っており、関係団体と事前調整を行い、搬入の平準化を進める。
- ②大豆については、農作業受託部門と連携し、適期刈取りにより搬入水分を低く抑え、光熱水費と燃料費の削減に努める。

(8) 温室ハウス

① サラダホウレンソウ

- ・周年栽培が可能であるが、冬季の栽培は露地物と競合するため、有利販売が難しく休止する。春から秋の生産量の増加に努めるとともに、安定的で有利な販路開拓を進める。
- ・サラダだけでなく加熱料理にも利用可能であるため、試食販売やPR活動を積極的に行う。

② トマト

- ・人気品種の「フルティカ」の栽培技術を確立するため、苗の導入から肥培管理、誘引方法等について、メーカーや農林事務所と連携を密にし、生産量の増加に努めるとともに、ブランド化など有利販売の方法も検討する。

③ イチゴ

- ・山口県推奨品種「かおり野」について、品種特性を十分に発揮させるため、農林事務所と連絡を密にし、基本技術を確実にを行う体制を整える。また、年内出荷により有利販売を図るとともに、イチゴ狩りを休園させることがないよう、生産量の向上を図る。
- ・商品化できないイチゴの有効活用についても、食彩館や加工体験部門と連携し活用方法を検討する。

(9) 果樹

① なし

- ・今年は4月の天候に恵まれ、花芽分化は旺盛^{おう}で着果数が多い。今後、摘果を十分に行い、小玉にならないよう管理を徹底する。

② ぶどう

- ・前年度に補植した巨峰は順調に生育しており、雪害による被害樹も回復してきており、前年以上の収穫を目指す。また、最近の消費者志向に合った品種を選定し、補植を行う。

③ 桃・すもも・ブルーベリー

- ・桃・すももは木が大きくなっており、前年以上の収穫を目指す。カラスや他の鳥類被害が多く、対策を検討する必要がある。
- ・ブルーベリーは木が小さく、安定した生産は望めないが、食彩館と連携し有効活

用する。

(10) 地域食材供給施設

平成 25 年度に「みのりの丘ジビエセンター」がオープンしたことにより、新たな食材・加工品の開発をはじめ、園内での野菜生産を拡充して品揃えの充実を図るなど、新たな集客に努める。

(11) 精米・製粉施設

リピーターの確保と新規依頼者の確保のため、依頼者の意見を十分に把握し、利用者の要望に沿えるよう一層努力する。

(12) 体験・都市農村交流

体験メニューの開発とPRに努め、一層の農業体験者の拡大に努める。また、体験料の見直しや他の部門とのセット割りについて検討する。

(13) 肉用牛繁殖育成施設

- ①各牛の登記書・履歴を整理し、飼養管理の基本データを集積する。
- ②畜舎の清掃に努め、定期的な清掃と保存飼料の管理を十分に行う。
- ③各成牛の繁殖計画を作成し、効率的な受精・受胎に努め、計画出荷を行う。
- ④公園内の未利用地を有効活用して、採草・放牧地を拡大し、粗飼料を確保するとともに、放牧景観を公園の魅力としてPRし、集客に努める。
- ⑤公園内の未利用雑草を粗飼料として活用する体制を整え、飼料費の削減を図る。
- ⑥農業生産法人と連携して稲わらを確保し、WCSに偏らない飼料給与体制を整える。

第2期 収支計画書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出		
	前年度予算額	本年度予算額	摘要	前年度予算額	本年度予算額	摘要
般管理	9,200,000	7,324,000		22,000,000	21,800,000	
指定管理業務		6,753,000	指定管理料 6,745,000 施設利用料等 8,000		9,300,000	指定管理経費 9,300,000
自主事業		571,000	補助金雑入等 571,000		12,500,000	人件費等 12,500,000
農作業受託	16,500,000	14,500,000		14,100,000	11,000,000	
指定管理業務						
自主事業		14,500,000	水稲作業 9,000,000 大豆等作業 5,500,000		11,000,000	水稲経費 4,000,000 大豆等経費 7,000,000
無人ヘリ農薬散布	100,500,000	104,000,000		92,000,000	93,000,000	
指定管理業務						
自主事業		104,000,000	農薬散布作業 104,000,000		93,000,000	農薬散布経費 93,000,000
堆肥製造販売	4,200,000	3,450,000		3,000,000	4,100,000	
指定管理業務		450,000	指定管理料 200,000 施設利用料 250,000		600,000	指定管理経費 600,000
自主事業		3,000,000	堆肥販売等 3,000,000		3,500,000	堆肥製造等経費 3,500,000
ライスセンター	9,100,000	9,200,000		5,900,000	5,800,000	
指定管理業務		6,700,000	施設利用料 6,700,000		3,500,000	指定管理経費 3,500,000
自主事業		2,500,000	運搬・資材費等 2,500,000		2,300,000	運搬・資材費等 2,300,000
温室ハウス	12,000,000	9,600,000		14,000,000	12,800,000	
指定管理業務						
自主事業		9,600,000	サラダホウレン草 9,600,000 イチゴ・トマト		12,800,000	農産物生産経費 12,800,000
果樹	7,200,000	7,200,000		7,500,000	5,700,000	
指定管理業務						
自主事業		7,200,000	梨・ブドウ等 7,200,000		5,700,000	農産物生産経費 5,700,000
地域食材供給施設	38,000,000	38,150,000		33,600,000	36,200,000	
指定管理業務		150,000	指定管理料 150,000		200,000	指定管理経費 200,000
自主事業		38,000,000	竹膳 14,000,000 物販 24,000,000		36,000,000	竹膳経費 13,500,000 物販経費 22,500,000
精米・製粉施設	1,900,000	1,550,000		1,800,000	1,250,000	
指定管理業務		1,550,000	指定管理料 50,000 施設利用料 1,500,000		1,250,000	指定管理経費 1,250,000
自主事業						
体験・都市農村交流	6,100,000	5,800,000		6,400,000	6,100,000	
指定管理業務		4,000,000	指定管理料 2,000,000 施設利用料等 2,000,000		4,300,000	指定管理経費 4,300,000
自主事業		1,800,000	体験料等 1,800,000		1,800,000	体験等経費 1,800,000
肉用牛繁殖育成施設	5,900,000	6,500,000		7,200,000	9,000,000	
指定管理業務		100,000	指定管理料 100,000		100,000	指定管理経費 100,000
自主事業		6,400,000	子牛販売等 6,400,000		8,900,000	8,900,000
田園空間博物館施設	2,400,000	2,660,000		2,900,000	2,600,000	
指定管理業務		2,660,000	指定管理料 2,600,000 施設利用料 60,000		2,600,000	指定管理経費 2,600,000
自主事業						
合計	213,000,000	209,934,000		210,400,000	209,350,000	
指定管理業務		22,363,000	指定管理料 11,845,000 施設利用料等 10,518,000		21,850,000	指定管理経費 21,850,000
自主事業		187,571,000	自主事業収入 187,571,000		187,500,000	自主事業経費 187,500,000

会 社 の 概 要

(平成26年3月31日現在)

- ① 商 号 有限会社豊田あぐりサービス
- ② 本店所在地 山口県下関市豊田町大字八道601番地3
- ③ 設立年月日 平成5年10月20日
- ④ 出資者及び資本金
- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 下 関 市 (170口) | 8,500,000円 |
| 下関農業協同組合 (120口) | 6,000,000円 |
| 株式会社 豊田ふるさとセンター
(10口) | 500,000円 |
| 上 川 正 昭 (2口) | 100,000円 |
| 吉 田 太 一 (2口) | 100,000円 |
| 新 田 正 二 (2口) | 100,000円 |
|
資 本 金 (306口) |
15,300,000円
(1口:50,000円) |
- ⑤ 取締役及び監査役
- | | |
|-------|---------|
| 代表取締役 | 上 川 正 昭 |
| 取締役 | 中 丸 徳 之 |
| 取締役 | 吉 田 太 一 |
| 監査役 | 山 名 俊 也 |

⑥ 従業員の状況

区分	従業員数 (前期比増減)	平均 年 齢	平 均 勤続年数	出 向 職員数
男性	6名 (1名)	36歳	4年	0名
女性	2名 (0名)	52歳	8年	0名
合計	8名 (1名)	40歳	5年	0名